



聖書を読む

今日学ぶこと:

- なぜ私たちは聖書を読むのか
- 聖書をどう読み、理解するのか
- 神とどう日常的に時間を過ごすのか



ウォーミングアップ:

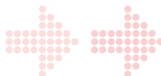
なぜクリスチャンは聖書を読むのでしょうか。



聖書研究:

主のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、
主のあかしは確かで、わきまのない者を賢くする。
主の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、
主の仰せはきよくて、人の目を明るくする。
主への恐れはきよく、とこしえまでも変わらない。
主のさばきはまことであり、ことごとく正しい。
それらは、金よりも、多くの純金よりも好ましい。
蜜よりも、蜜蜂の巣のしたたりよりも甘い。
また、それによって、あなたのしもべは戒めを受ける。
それを守れば、報いは大きい。

詩篇19:7-11



1. みことばを描写しているすべての名詞を丸で囲みましょう(例「みおしえ」)。これらは聖書について何を教えていますか。

2. すべての形容詞の下に線を引きましょう(「完全で」のような説明的な言葉です)。これらは、聖書をどう説明していますか。

3. みことばがもたらす効果や影響を説明している言葉を四角で囲みましょう(例「たましいを生き返らせ」)。みことばは何をするのでしょうか。

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。

Ⅱ テモテ3:16

1. みことばは何に役立ちますか。



解説:

聖書を読む



聖書は、神からのラブレターだと考える人がいます。ある意味それは事実です。聖書は、神が誰で、どのくらい私たちを愛しておられるのか、神による私たちのための計画、私たちに何を求めておられるのかを教えます。何千年も前に人の手で書かれましたが、神の靈感に導かれて書くようにされたのは神です。そのため私たちは、それを「神のみことば」と呼びます。

キリストに従う者として、私たちは聖書の権威を完全に信じます。それは人間の理解に頼るのではなく、神のきよい基準に関する最終的な結論を、聖書から見いだすことを意味します。これはなかなかの難題です。どのように生き、神と関わるべきかにおいて、自分の個人的な信念や、主義、価値観を正当化するように聖書を解釈しがちだからです。

詩篇19:7-11は、聖書をよく知ればどのような恩恵があるかを説明しています。それは私たちに、いのちと喜びを与え、私たちを賢くし、みこころに従って生きることを教えます。Ⅱ テモテ3:16は、聖書が真実と偽りについて教えてくれると言っています。

祈りとともに、聖書を読んだり、勉強したりすることは、神との関係を成長させる上で重要です。聖書を読む時間を取ることは、神について学び、神を理解し、神に従い、神を愛することを可能にします。詩篇1:1-3は、「主のおしえを喜びとし」、「昼も夜も」思いめぐらすように勧めています。聖書を読み、思いめぐらす時間が増えるほど、より神ご自身や、神に喜ばれる生き方を見いだします。

始め方

聖書を読んだことがなければ、分からない箇所もあるでしょう。心配しないでください。神は、私たちがみことばをすぐ完全に理解できるとは思っておられません。祈りと同じように時間がかかります。それに、読み続けていると、神が何を言われているのか、それをどう私たちの生活に適用するかを、理解できるように聖霊が助けてくださいます。

聖書はいろんな方法で入手できます。印刷された聖書を購入したり、オンラインの聖書を利用したり、携帯に聖書アプリをダウンロードしたりすることができます。次の方法は、聖書を読み、理解し、適用する助けになります。今は大変そうに思えても、心配しないでください。これは練習すれば上達することです。

- **観察**（「何と言っているのでしょうか。」）聖書箇所を読み、「誰」、「何」、「なぜ」、「どこ」、「いつ」、「どうやって」と質問します。例：神は誰と話されているのでしょうか。神は何と言われましたか。なぜそう言われたのでしょうか。
- **解釈**（「どういう意味ですか。」）聖書箇所の背後にある教えを理解するには訓練が必要です。聖書のクラス、グループ討論、教会の説教が役立ちます。聖書研究のノート、注解書、聖書辞典など、聖書を解釈するのに役立つ資料が多く利用できます。
- **熟考**（「神は何を私に言われているのでしょうか。」）聖書箇所を思いめぐらす時間を持ちましょう。頭と心の中でみことばに慣れ親しみ、神があなたに語られる機会を持ちましょう。
- **適用**（「これをどう実行できますか。」）最後に、学んだことを実行します。実際に神の原則を生活に適用する時、聖霊は、あなたの考えや、言動、振る舞いを、キリストの品性を表すものに変えられます。

「静思の時」をどう持つか

神と定期的に時間を過ごすことは、神のみもとに近づく助けになります。これは、よく「静思の時」と呼ばれます。聖書を毎日読み、神に祈る時間を持つことです。デイリーブレッドのようなデボーションガイドを利用することもできます。

静思の時を始めるヒント：

- **毎日聖書を読み**、祈る時間を取りましょう。
- 気が散らない静かな場所を見つけましょう。
- **現実的なゴールを決めます**。完璧にこだわらず、徐々に習慣づけることを目指しましょう。
- **神の力により頼みましょう**。神と時間を過ごしたいという願いが与えられるように祈りましょう。神はそれを喜ばれます。



祈り：

天の父よ、聖書をくださり感謝します。あなたをもっと知るために、聖書を読む情熱と自制心をください。みもとに近づけるように、みことばにある素晴らしい真理に目を開かせてください。



今日のチャレンジ:

祈りと聖書を読む静思の時間を日常的に持ち始めましょう。



もう一步先へ:

- マタイ4:1-11とルカ2:46-52を読みましょう。これらの聖書箇所では、イエスのみことばの知識や使い方、みことばの力について何がわかりますか。
- 預言者エレミヤは、みことばを「食べた」と言っています(エレミヤ書15:16)。食べ物をどんなふうで噛んで、消化して、エネルギーに変えるか考えてみてください。これをどう聖書を読むことに適用できますか。